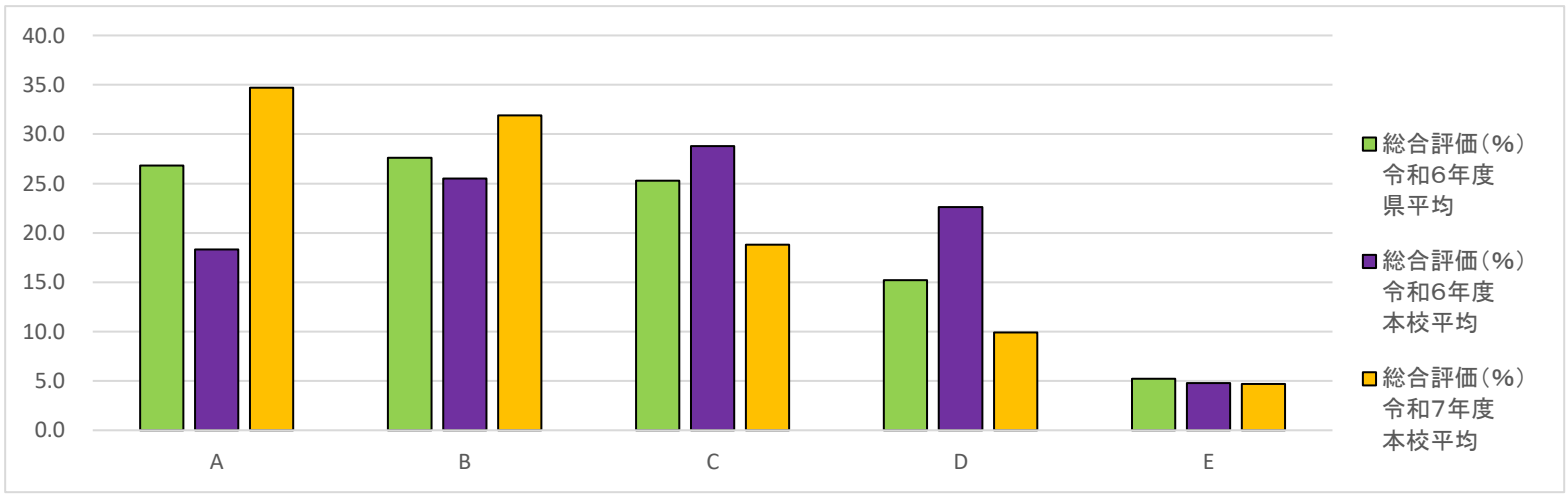


学 校 名		つくばみらい市立小絹中 学校		校 長 名	会 沢 裕 之			児童数	231 名
				記載者名				学級数	12 学級
							(内特)	(6)	
体 力 テ ス ト	令和6年度結果	総合評価(%) 令和6年度 県平均	A	B	C	D	E	※ 小数第1位まで記入 (小数第2位は四捨五入) ①はA及びBの割合を記入する。 ②はD及びEの割合を記入する。 ③は①－②の値を記入する。	
		26.8 %	27.6 %	25.3 %	15.2 %	5.2 %			
		総合評価(%) 令和6年度 本校平均	18.3 %	25.5 %	28.8 %	22.6 %	4.8 %		
		①	43.8 %		②	27.4 %	③	16.4 %	
	令和7年度結果	総合評価(%) 令和7年度 県平均	34.7 %	31.9 %	18.8 %	9.9 %	4.7 %		
		①	66.6 %		②	14.6 %	③	52.0 %	
									
	令和7年度の成果と 今後の課題	【成果】 全学年の男女の平均が長座体前屈やハンドボール投げの種目で全国平均値を上回った。体育の授業で準備運動の時に、柔軟体操を行ったり、肩を回すときに肩甲骨を意識して体操したりすることによって、記録を伸ばすことができた。							
		【課題】 全体的に、握力や立ち幅跳び、50m走の記録が全国平均値を下回っている。筋力や瞬発力を使う種目で記録が伸びていないことが分かった。							
1 校 1 プ ラ ン	プラン名	筋力(握力)							
	主な内容	器械運動の単位において、授業の導入の時間に、倒立ができるように自分の体を支えたり、鉄棒にぶら下がったりする活動を取り入れる。							
	実施時期	1月～3月							
課 題 解 決 に 向 け た 重 点 的 な 取 組	取組1	保健体育の授業における創意ある工夫や取組							
	【課題】 50m走の平均が全国平均値よりも下回っている。コロナ禍を経て、走る機会や外で遊ぶ機会が減っているため、走力が低下していると考えられる。								
	【取組】 体育の授業の時に、準備運動の後に必ずグラウンドを2周走ってから本時の内容に入る活動を行う。								
	取組2	②体育的行事の実践							
	【課題】 取組1の課題にも挙げたとおり、走力は本校の課題である。体力テストのシャトルランは、全国平均値を超えている学年もあるが、持久力の向上も課題であると考えられる。								
	【取組】 1500m走の記録会を学校の行事として行う。行事の1回のみ走るのではなく、体育の授業の中で数回練習した上で、記録測定をしていく。そのため、1回目の記録よりも記録会の記録の方が良くなることが考えられるため、自信や達成感を味わうことにもつながっていくと考える。								
達成指標	①体力テストの総合評価(A+B)－(D+E)の割合を55%以上。								